

攪拌機製造メーカー 「プライミクス(株)」が 本社・工場を 淡路花博跡地へ移転

社宅160戸も建設するなど
自然に溶け込んだ職住環境を整備
平成27年8月操業予定



移転計画を発表する古市社長（左から2番目）

攪拌機製造メーカー、プライミクス株式会社（社員総数207名）が、4月18日、淡路市役所会議室で、大阪市の本社と工場、埼玉県にある第2工場を夢舞台サスティナブル・パーク（淡路花博跡地）へ移転すると記者発表しました。

今年で創業85年の同社は、国内初の乳化分散が可能な高速攪拌機製造国内トップシェアを誇る企業ですが、本社の老朽化や手狭さなどから、昨年11月、淡路市が“職住一体・働きそして安心して暮らせるコンパクトシティ”を目指す淡路花博跡地

の利用者募集に同社が提案。同社の自然に溶け込んだ職場と住居が共存した環境作りを評価し、市は今年3月、約3.8haの花博跡地を同社へ約1億1千万円で譲渡しました。

同社の計画によると、平成26年4月から壁面緑化や屋上緑化など環境に配慮した延べ床面積9500㎡の2階建て本社・工場を建設するほか、移転に伴う社員の妻帯者用・単身者用の社宅計160戸も建設。総工費は38億円で、自然に囲まれた淡路島で新しいスタイルの職住環境が整備され

ることになっています。

完成は、平成27年8月頃で、約40名の地元雇用も予定されているほか、同社では、工場の集約や効率化により、10年後の売上高を平成25年3月期の50億円から100億円に倍増することを目指しています。

古市尚社長は、「市と一緒にあって、共感する関連会社などを夢舞台サスティナブル・パークに何社も誘致していきたい」と話すなど、同社の移転により、雇用と定住促進が大いに期待されます。